

～秋の読書週間～

鴨志田緑小学校では、10月24日～11月10日までの約3週間が読書週間でした。読書週間には、「本をたくさん読んでもらう」ために図書委員を中心に子ども達が率先して企画を立てたので、いくつかご紹介したいと思います。

図書集会

今回、図書委員が全校に伝えたテーマは「日本十進分類表」についてです。本の背にはどんな本かが分かる数字が書いてあり、この数字は日本全国どの図書館・図書室でも共通の数字です。

例えば、物語（文学）を表す数字は9（918等となっているので一番左の数字があてはまります。）、算数・理科・生き物などは4など決まっています。その番号の棚の意味が分かれば本が探せるので、劇とクイズを交えながら1年生でも分かるようにと図書集会を開きました。

「図書の住所って何？」とぜひお子様に聞いてみてください。

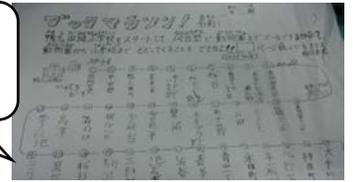


図書室での本の探し方を教えます！

ブックマラソン

1マス〇ページ読んだら色を塗るという、すごろく形式のものです。今回は団地中央（バス停名）→青葉台（田園都市線駅名）→東武動物公園まで70のチェックができるシートを子ども達が考えました。代表委員で、ペア学年（1年と6年等）で取り組むシート、個人で取り組むシートの2つが決まり、みんな秋の読書週間中はたくさんの本を読んだことがよく分かりました。

クラスと個人で
チャレンジ！



ファミリー読書

ご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。中には、弟や妹に毎日読み聞かせをしているという子もいて様々な形で本に触れあっている姿が素敵でした。

ポップ作り

図書室にある本を中心に本の紹介をするポップ作りが図書室で行われました。図書室の2つの机はポップ作りコーナーとなり、色画用紙、色々なペンや色鉛筆などが置かれ、毎日たくさんの子がお気に入りの本を紹介していました。

子ども達を書いたポップは、友達が本の世界を広げられるように図書室前に掲示してあります。

また、図書室前のショーウィンドウと廊下は、図書館ボランティアさんの手によってクリスマス仕様になり、四季も感じられる空間となっています。



読み聞かせ会

10月24～26日までの間に、低中高の3回、中休みに読み聞かせ会が行われました。

朝の読み聞かせとは少し違う空気や空間の中、どの会も子ども達は、そのお話の世界の余韻に浸りながら教室まで帰っていく姿が見られました。

低学年では、大型絵本や「おしくらまんじゅう♪」など掛け声が可愛い本、中学年では手品で子ども達の心をつかんだ後、皆物語の世界に入り込んだおじぞうさんの紙芝居、高学年では、貧困の問題も取り上げながら世界のお話を2冊、読み聞かせボランティアさんによる読み聞かせ会が行われました。

「初めて参加します。」とのボランティアの方がほとんどでしたが、どの会も素敵な空間と時間でした。毎年楽しみにしている子ども達が多いので、来年の読み聞かせ会に参加して下さる方、大募集中です！

